



# 日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)  
電話 (鉄電) 千葉2935・2939番  
(公) 043(222)7207番  
FAX 043(224)7197番

2000.9.29 No. 5201

## 東労組、全面外注

### 丸呑みの裏切り!

#### 設備関係の外注化提案

JR東日本は9月13日、検修・構内関係と設備部門の大幅な外注化を含む合理化提案を行ったが、設備関係の提案は、検修・構内業務の外注化と比べても一層極端な大合理化計画だ(検修・構内関係は「日刊」五一九六号参照)。

#### 実作業は基本的に全て外注対象

設備部門とは、保線、電力、通信、土木、建築、機械の各系統を総称するものだが、提案は簡単に言えば、JRが直轄で行う業務は、予算・決算の管理、財産管理、技術管理、工事契約などだけに特化し、実際の作業は基本的に全て外注化してしまうというものだ。例えば保線部門では、MTT(マルチ)等の機械による軌道補修作業なども外注化の対象とされており、電力や通信では、検測車の測定業務、工事切替時の試験なども外注化の対象にされている。また、全系統共通の外注化対象として、線閉責任者や調査・設計業務までが含まれている。

#### 各区の解体―三千人強の要員削減!

業務の執行体制としては、これまでの保線区や電力区、信通区などは全て

解体・廃止し、各系統ごとに各支社一ヶ所の「技術センター」を置くだけにするという。保線部門だけは各支社一箇所ではできないとしているが、「保線技術センター」の設置数は、現在の保線区の半分ほどになると考えられる。これによって、現在の一万三百人体制を七千人体制にするという抜本的な合理化攻撃だ。

しかも、検修・構内業務の外注化は、定年退職者の人数等を見ながら逐次実施するという提案だが、設備関係の提案は、これだけの大合理化を来年度中に一挙にやるというのである。人員削減の対象となる三千人強はそっくり出向にだし、その後逐次退職者に置き換えていくというのだ。

#### 組合員を騙し、卑劣な裏切り!

これは、徹底した総額人件費の切り下げ・抑制を目的としていること、つまり、検修や設備の業務を月額13万14万円という超低賃金で、JRを退職したベテラン労働者に置き換えていくという卑劣な攻撃である。

だが問題は、会社の提案がJRという企業のあり方を根本から再編するような大合理化攻撃だというばかりではない。JR東労組は、今回の提案の内

容が明らかになる前にこれをそっくり認めてしまっているのだ。しかも、この間の東労組の機関紙などを見ても、そのことには全く触れず、ひた隠しにしている。すでに丸呑みしてしまっているから、組合員には一切を隠し、何かこれから取り組みが始まるかのようについて組合員を騙すようなやり方は絶対に許すことができない。

#### 東労組よ、事実を明らかにせよ!

東労組が3月1日に裏切り妥結した「シニア協定」には、

労使は鉄道事業業務等の委託をさらに深度化して着実に推進する。

という項目がワンセットで盛り込まれている。東労組はこれを承認し、協定を締結したのだ。今回の合理化提案はこの裏切りの結果である。それどころか、「国労・JR連合解体」のために「東労組だからこそできた大成果」などというデマ宣伝を繰り返したのだ。まさに犯罪的としか言いようがない。

検修・構内関係の外注化で言えば、これは7年前に提案されながら、実際には実施できなかったものである。それが、「シニア協定」の裏切り妥結によって、外注化の範囲をより広げて、一挙に進められようとしているのだ。

東労組よ、なぜこの事実を組合員の前に明らかにしないのか。「シニア協定のなかで外注化の推進・深度化を承認しました」と事実を述べないのか。なぜ組合員を騙すのか。

東労組の機関紙「緑の風」290号は、今回の提案についての特集号だが、そこには「反対」の文字も、問題点の指摘も一切ない。そして「現実を直視する

勇気が不可欠だ」などというのだ。要するに全て呑んでしまっていることをこんな卑劣な言い方でごまかしているのだ。今こそ、この裏切りに怒りの声をあげよう。

#### 2年前から準備されていた裏切り

だがそればかりではない。実際の裏切りは、2年前前から準備されていたのだ。東労組は、昨年1月に会社と締結した「覚書」で、すでに「鉄道事業業務の委託を着実に推進する」ことを合意している。

以降東労組と会社の経協では、今回の提案に至る外注化の内容が秘かに協議され、そこでは「設備関係の外注化は国労対策を目的として行う」などという議論までされているというのだ。

言うまでもなく合理化や要員削減では、東労組の組合員も等しく犠牲を被る。東労組の役員たちは、それを承知で、国労を潰すためには組合員を犠牲にし、大合理化を丸呑みしても構わないという密議をしているということだ。

#### 闘争突人宣言!

われわれは、この攻撃に対して組織をあげた闘いに突入する決意である。

「シニア協定」と今回の外注化攻撃はまさに一体のものだ。われわれは26日、「シニア制度」について、労働省への申し立てにつづいて、千葉地労委に不当労働行為の申し立てを行った。第29回定期大会では、「一〇四七名闘争勝利」「シニア―外注化攻撃粉砕」「JR総連解体―組織拡大」の三大闘争に突入する戦闘宣言を発する。ともに闘おう。